

制作過程を蓄積し、振り返る活動を通して、
自分の学びを明らかにしながら学習を進める生徒の育成

胎内市立中条中学校

長沢 直行 (H16 年度)

生徒たちが制作を進める中で、これまでの授業では題材の途中と終末にふり返りの活動を一齐に行ってきた。生徒たちの実態は、一人一人が制作の途中で悩むタイミング、必要な情報や支援などがそれぞれに異なっていると考えられる。そこで、生徒たちのアイデアや作品、ふり返りなどを共有し、お互いの制作過程が見えることで、生徒たちはいつでも必要に応じて自分の制作をふり返り、主体的に作品を追求できるのではないかと考えた。また、制作過程を蓄積していくことは、生徒の自らの学びに対する気付きにも繋がるのが期待される。

本実践では ICT を、制作過程を蓄積し共有する手段として活用し、自分の学びを明らかにしながら学習を進める生徒の育成を図る。